

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会

HP : <https://endoflifecare.or.jp/>

紹介動画を見る ▶

団体概要

ホスピスという死を前にした人と関わる現場から学んできたことを、「折れない心を育てる いのちの授業」として、学校現場には 2000 年から 1000 校以上へお届けして参りました。その関わりの本質は、「苦しんでいる人は、たった一人でも、自分の苦しみをわかってくれる人がいるとうれしい」という視点です。身近な人の苦しみに気づき関われる人がそれぞれの地域に広がっていくことを願って、2015 年に全国組織を作りました。医療・福祉等の専門職に限らず、子どもからお年寄りまで、誰もが、自分を大切にし、人に優しくなれることで、生涯豊かさ(Well-being)を実感できる社会づくりを目指し、活動しています。

支援対象

小学校/中学校/高等学校/特別支援教育/その他:PTA・教職員研修等

活動内容・活動状況

0 歳から 100 歳まで 誰もが 答えのないところの問題に向き合えるように
～折れない心を育てる いのちの授業:OK プロジェクト～

いのちは大事。頭ではわかっているのに、なぜ人は、大事ないのちを傷つけてしまうのでしょうか？苦しくて仕方がないとき、自分や他者を傷つけてしまうことがあります。どうすれば、その苦しみとともに、これから生きて行くことができるのでしょうか？そして、誰かが目の前で苦しんでいるとき、あなたに何ができるのでしょうか？対話で進める 2 時間の授業です。

対応可能時期

日程が合えば随時可能

必要経費

無償(基本的に東京近郊の講師が伺いますが、少し距離がある場合、可能であれば交通費をご検討いただけますと幸いです)

会場・定員・必要備品等

できればクラスごとに教室で実施をお勧めしております。対面・オンラインいずれも可能です。資料印刷をお願いいたします。

担当者より一言

先生方・保護者の方も一緒に学んでいただき、折に触れて問いかけ、対話していただくきっかけを作ることができます。自分を認め人にやさしくなれる地域づくりにもつながることを願い活動しています。一緒に活動しませんか？

折れない心を育てる いのちの授業プロジェクト

<https://endoflifecare.or.jp/pages/okproject>

◆いのちの現場から学んできたことを、本質として提示。スライドと動画をもとに一緒に考えていきます。

児童・生徒が自分ごととなるような事例を交えて紹介します。先生方や保護者のみなさまもぜひ一緒にご参加ください。

一校時	レッスン1 苦しみから支えに気づく	<ul style="list-style-type: none"> なぜ人は自分や他者を傷つけるのか？ 苦しみとは？ 解決できる苦しみと解決できない苦しみ 支えについて (支えとなる関係、選ぶことができる自由、将来の夢)
	レッスン2 苦しむ人を前にして私にできること	<ul style="list-style-type: none"> わかってくれる人がいるとうれしい 聴くこと(反復)
	レッスン3 自分を認め大切にす	<ul style="list-style-type: none"> どんなときに自分を認め大切に思えるか 自分が誰からも必要とされていないと感じる苦しみ Nanaさんの詩(病がくれた勇気/カラー)

◆全国230名の認定講師が、対面/オンラインで授業を実施します。

認定を受けた講師(最年少は認定当時小5)が伺います。講師はお互い学び合うコミュニティを形成し、自身も自分ごととして学び続けています。



【参加者の声】

○これからは、解決できる苦しみは、自分で解決し、解決できない苦しみは家族や先生に相談することがこのじゅぎょうで分かりました。私も、早くこの世からいなくなりたいと思っていたけど、このじゅぎょうを受けて、もう少し生きようと思いました。様々なことを教えてもらったので、苦しいことがあればこのことをおもいだす。と思いました。(小学生)

○自身の生死について悩んだ生徒が、この授業をきっかけに生きることを真剣に模索し始め、色んな人の話を聞いて考えを深めたり自分自身と向き合うようになりました。また、進路についても悩みながらも色々模索し少しずつ前に進めるようになりました。生徒自身、授業の内容が心に染み入り、この出会いにととても感謝しています。(中学校教員)

【最近の活動】

活動日	地域	活動内容	対象・出席数
令和1年～	全国	平成12年から代表者が横浜市を中心に出前授業を開始、令和1年からは認定講師育成を開始。現在全国各地で230名が活動。	学校・地域コミュニティ含め未就学児～高齢者まで。令和1年から現在までに6万人が参加。
令和3年～	大阪市	大阪市教育委員会と連携し、希望する学校へ対面・オンラインで出前授業を実施。養護教諭向け研修には200名が参加。	小4～中3・教職員(87校、224クラス、7,986名)・保護者
令和4年2月	横浜市	市からの依頼に基づき、いじめや自殺などの予防を目的とした講演会をオンラインで実施。	市内学校長等135名
令和5年12月	全国	緩和医療学会「Palliative Care Research」公開論文として活動報告が掲載された。	—